

【旧碓氷峠(熊野神社)】
 中山道の峠。碓氷峠の長野県側に降った雨は日本海へ、群馬県側に降った雨は太平洋へ流れる中央分水嶺である。峠にある神社は都道府県ごとに宗教学者の登記がされることになったため、元々ひとつの神社でありながら県境を挟んで、群馬県側に熊野神社、長野県側に熊野皇大神社という別々の宗教法人となった。そのため、一つの神社だが、官司や社務所、賽銭箱、お守り、ご祈符は別々である。神社の向かいにあるしげの園や熊野神社官司宅の碓氷山荘で名物の力餅を食べる事が出来る。

【熊ノ平駅跡】
 今回のコースで一番行きかかった場所。遊歩道(アプトの道)が整備されるまででも、めがね橋やその手前の「5号トンネル」などは道路から比較的容易にアプローチできたが、熊ノ平駅は閉ざされた空間だった。2012年3月に熊ノ平駅まで延長され、国道18号線沿いに駐車場も整備され、駐車場から容易にアプローチできる様になった。是非、じっくり探索して欲しい。

【仙ヶ滝】
 松井田町の山中を水源とする九十九川の支流にある滝。松井田城落城の際、城主の娘「お仙」が身を投じたという伝説から名付けられた。以前は滝の裏側からも滝を見る事が出来たが今は近づけなくなっている。紅葉のシーズンや滝の裏側に氷柱が凍り「氷箭(ひょうじゅん)」が出来ると冬も見頃らしいが、新緑の季節から夏にかけても涼しさを味わえる。

【玉置ドライブイン】
 霧積温泉との分岐にあるドライブインと言うよりもしるしの雰囲気。「創業200年・碓氷峠の力餅」の看板通り、力餅の老舗(?)。熊ノ平駅の廃止(信号場に降格)まで熊ノ平駅で力餅の駅売りをしていたらしい。この力餅は美味しいです。是非立ち寄ってください。お土産にもできます。

当初プランでは、2002年のDWR22で走った、分断された県道125号線をつなぐ道(林道長瀬寺線)を走るとつもりだったが、残念ながら「関係者以外立入禁止」。まずまずの路面のダートが2km弱ある道だった。

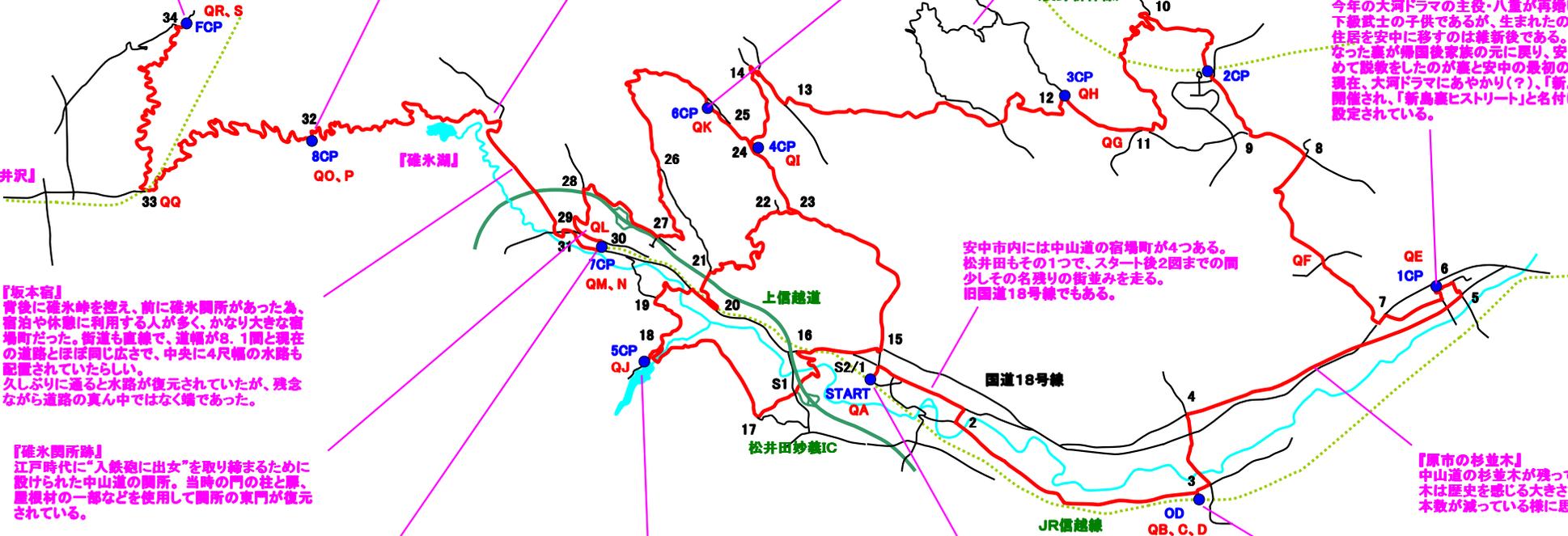
【安中市街】
 中山道の宿場町でもあり、城下町でもあった。安中氏により築城され、徳川家康が関東の地に入封した際、井伊家が安中城主となった。今年の大河ドラマの主役・八重が再婚した新島襄は、安中藩下級武士の子供であるが、生まれたのは江戸で、新島家が住居を安中に移すのは維新後である。密航で渡米し牧師となった襄が帰国後家族の元に戻り、安中滞在中に日本で初めて説教をしたのが襄と安中の最初の接点ではないかと思う。現在、大河ドラマにあやかり(?)、「新島襄・八重子風」が開催され、「新島襄ヒストリート」と名付けた街歩きコースも設定されている。

安中市内には中山道の宿場町が4つある。松井田もその1つで、スタート後2回までの間少しその名残りの街並みを見る。旧国道18号線でもある。

【原市の杉並木】
 中山道の杉並木が残っている。木は歴史を感じる大きさであるが、行く度に本数が減っている様に思う・・・

【JR信越線・碓氷駅】
 省のお宿で有名な碓氷温泉の最寄駅だが、驚くほど駅前は狭い。温泉街までは歩いて行けるので、それ程大きな駅前は要らないのかも・・・。そう言えば有馬温泉駅の駅前はもっと狭かった。

【JR信越線・西松井田駅】
 いまは寂れた駅だが、元々はここが「松井田駅」であった。当時は、スイッチバック駅で、駅前から安中方面に延びる道がスイッチバックの引き込み線で、その先に駅があった。駅の反対側の横川方面に延びる道も引き込み線であった。この線に入った後、バックで駅に入っていた。残念ながら当時の面影や遺構は全く残っていない。



第52回D-Wind Rally Course Layout

小さな黒数字はコマ図番号です。
 ※クイズの位置はおよその位置です。